特集

機能性材料としての漆喰の普及に向けて

かつては左官職人の手仕事によって仕上げられる伝統材料であった漆喰は、その意匠性だけでなく、調湿性や消臭機能、耐防火性、VOCの低減といった室内環境に関わる機能性を期待される機能性材料として注目されている。

一方で、施工の簡便性やコスト面で圧倒的なシェアを誇る壁紙に押されている。漆喰の普及に向けては安易に材料を安くするだけでなく、職人の技能を活かしながら、いかにして施工の合理化を図っていくのか、機能性を担保しながら普及に繋げていくかが重要となっている。

今月号では、日本漆喰協会の奥山浩司会長に漆喰の普及に向けて課題と可能性、協会の取り組みを伺うほか、各社製品を紹介しながら今後の展望を探っていく。（編集部）

インタビュー

漆喰は古くて新しい、社会的価値のあるもの
―持続的に市場を拡大成長させる可能性を秘めた左官材―
日本漆喰協会
奥山 浩司会長に聞く… 8

漆喰を活かす施工事例

漆喰の風合いと色彩のコントラストが調和する邸宅 …… 12

木組みと漆喰を活かした古民家のコンバージョン …… 13

データシート

機能性材料としての漆喰製品・工法
「本造り 純ねり」「本造り 純黒」／田中石灰工業株式会社 … 14
タナクリーム／田中石灰工業株式会社 …… 15
たなか壁／田中石灰工業株式会社 …… 16
村樫の現代しっくい／村樫石灰工業株式会社 …… 17

製品アンケート

メーカー推奨の漆喰製品一覧 …… 18